



6月号に掲載した「不要の眼鏡を発展途上国に」(9頁)の記事で、「西脇ロータリークラブ」は「西脇ライオンズクラブ」の誤りでした。おわびして訂正します。



### 往年の名車、オリナスに集結

昭和期などに生産された往年の名車約100台が県内を巡る「コッパディ姫路」で本市に集結。名車を一目見ようと集まったギャラリーは、写真に収めたり、手を振ったりして歓迎しました。

イベントは古き良きものを大切にする文化を伝え、名車の魅力を発信しようと、愛好家らでつくる実行委員会が主催。一行は2日間かけて北播磨や淡路、丹波などを訪れ、381kmを走破しました。

〔6月5日／市役所・市民交流施設オリナス〕



### 園内彩る3千株のアジサイ

都麻乃郷あじさい園が3季ぶりに開園し、ピンクや紫などに色づき、見頃を迎えたアジサイの花が、来園者を癒しています。1万2千平方メートルの園内には、地域住民の皆さんが約30種3千株を丹精込めて育てています。開園は7月3日まで。

また、併設のTUMAこいカフェでは、園内を眺めながらお茶を楽しめ、期間限定で「あじさいヨーグルトゼリー」も提供されています(開園期間中は無休)。〔都麻乃郷あじさい園(坂本)〕



### 織物の名物市、3年ぶり開催—県内外から8千人

播州織の振興と中心市街地の活性化を目的に、「第3回播州織産地博覧会(播博)」が開催されました。

播博は「織物のまに、織物の名物市を！」を合言葉に、市民有志でつくる実行委員会が平成30年から毎年開いており、コロナ禍の中止を挟んで、今年は3年ぶりの開催。会場となった市役所・市民交流施設オリナスから旧来住家住宅までの一帯には、県内外から約8千人が訪れ、西脇市と多可町にある播州織の産元商社や機屋、小売店など計23社のお店は、生地や製品を買い求める多くの人でにぎわいました。

また、播州織を使った小物づくりのワークショップのほか、地元の食材を使った限定メニューの販売やキッチンカーによる販売もありました。〔5月22日／市役所・市民交流施設オリナスなど〕



### 「気象庁長官表彰」受賞

6月1日の「気象記念日」にちなみ、西脇地域気象観測所の委託観測業務に献身的に協力したとして、片山市長が佐伯亮介神戸地方気象台長から表彰を受けました。本市を含め、県内3団体が選ばれています。〔6月3日／市役所〕



### 善意で住みよいまちに

6月1日の「善意の日」に、西脇建設業協会や市職員OB会の皆さんが草刈りやせん定作業を実施。また、市上下水道組合の皆さんは「水道週間」に合わせ、小中学校の水道施設を無償で点検・修理を行いました。〔6月1日／市内〕



### 味自慢の弁当ずらり

西脇多可料飲組合による弁当市で、組合に加盟する14店が黒田庄和牛や百日どりの弁当、播州ラーメンなど計540食を販売。販売開始直後から各店自慢の弁当を買い求める多くのお客でにぎわいました。〔6月5日／市民交流施設〕



### 播州織の振興願う—織物感謝祭

織物感謝祭が執り行われ、織物業界の代表者や片山市長らが、播州織の振興と新型コロナウイルス感染症の早期収束を祈願しました。北播磨地場産業開発機構の齋藤太紀雄理事長は「コロナ禍で生産量が大きく落ち込んでいたが、今年に入り増えてきている。産地の活性化を図っていきたい」と述べました。〔5月22日／機殿神社(西脇)〕

### 市民さわやか表彰式



### 善行のあった方々に「さわやか賞」

市では善行のあった個人と団体に「市民さわやか賞」を贈呈しています。今年度の受賞者は次の方々です(敬称略)。▶有元いちの(野村町)＝おりひめ体操の支援を継続して実施▶藤本宮雄、藤本典子(西脇)＝美化活動を継続して実施▶サクラクラブ＝四季折々の草花の栽培や花壇の手入れを継続して実施。〔6月2日／市役所〕